

2026 年度 総合型選抜（9 月募集）【探究評価型】

経営学部 経営学科

1. プレゼンテーション課題

あなたがこれまでに行ってきた探究学習の活動を 1 つ取り上げて、探究学習報告書を作成し、プレゼンテーションを行ってください。その活動が高等学校などの正課活動として実施されたか、または、課外活動でされたかは不問とし、学校の外で個人的・自主的に行ったり、参加したりした活動を取りあげても構いません。ただし、今回の選抜試験でとりあげる探究学習は、高等学校入学以降に成果物が完成した探究学習に限定します。

【望ましい探究学習のテーマ】

今回の選抜試験で取り上げる探究学習のテーマは、原則としてどのようなテーマでも構いません。なお、以下に該当するテーマの探究学習を推奨し、高く評価します。

(1) 「企業や経営」に関するテーマ

⇒（具体例、キーワード）企業・業界研究、経営戦略、組織運営、商品開発、イノベーション、マーケティング、流通、人材（雇用、働き方、賃金など）、起業、ビジネスモデル、ビジネスプラン、社史・業界史、国際経営など

(2) 「企業と社会」に関するテーマ

⇒（具体例、キーワード）企業の社会貢献活動、SDGs など社会課題の解決、デジタル化、企業による地域活性化、企業倫理など

2. 作成要領および実施要領

【探究学習報告書 作成要領】

探究学習報告書は以下のとおり作成してください。

- (1) 探究学習報告書への記述方法は、手書きでもワープロソフトを使用してもかまいません。全体で A4 用紙の片面 3 ページ以内に収まるように作成してください。
探究学習報告書の書式は[こちら](#)からダウンロードしてください(docx 形式)
- (2) ワープロソフトを使用して作成する場合、文字の大きさや行間幅の設定は、指定書式から変更しないでください。2 ページ目以降を作成する際は、各項目、縦に枠を広げ、全体で A4 用紙の片面 3 ページ以内に収まるように作成してください。
- (3) 図表や画像などの視覚資料を利用しても構いません。探究学習報告書の書式に貼り付けてください。図表や画像の大きさの指定はありませんが、審査員が判別可能な大きさにしてください。
- (4) 文献や資料などを適宜参照するとともに、記述した内容と文献・資料との関係がわかるようにしてください。
- (5) ネット記事に言及することは妨げませんが、匿名の SNS での投稿など、根拠の不明瞭なものへの言及は控えてください。

【出願時に提出するもの】

出願時に必要な書類と共に、「探究学習報告書」を3部提出してください。

【試験当日に持参するもの】

(1) 試験当日、ノートPC やプロジェクターを使用したプレゼンテーションを「希望する」と回答した受験生の方

USB（タイプA）でコンピュータに接続できる記憶媒体（USBメモリ等）に、プレゼンテーション用に作成したデータ（パワーポイント等）を保存し、忘れずに持参してください。なお、USBにはプレゼンテーションで使用するファイルのみを保存し、そのほかのファイルは保存しないでください。また、ファイル名は「KGU2026 探究」としてください。

プレゼンテーションに使用するPCおよびプロジェクターは大学で用意します。なお、当日は受験生自身がスライドの操作をしながらプレゼンテーションを進めます。インターネット接続環境はありませんので、必要なデータは事前にUSBメモリに保存してください。なお、Googleスライドで作成したデータは、Microsoft PowerPointの形式でダウンロードし、持参することをお勧めします。

持参したファイルの破損など、受験生本人の準備に起因する機材トラブルが生じた場合、PCによるプレゼンテーションではなく、事前に提出した探究学習報告書（紙）によるプレゼンテーションをお願いする場合があります。

* PCのOSはWindows10、Microsoft PowerPoint2019が使用できます（2007～2019のバージョンであれば使用可）

(2) 試験当日、ノートPC やプロジェクターを使用したプレゼンテーションを「希望しない」と回答した受験生の方

特に持参する物はありません。試験当日は、出願時に提出した「探究学習報告書」3部のうち1部を、審査員が受験生に渡します。それを見ながらプレゼンテーションを行ってください。

【プレゼンテーション・口頭試問、面接 実施要領】

プレゼンテーションは以下のとおり実施いたしますので、定められた時間内で十分な説明ができるよう事前に練習してください。また、口頭試問における質問などを想定して、的確に返答できるよう準備してください。

- (1) プレゼンテーションの時間は10分以内です。プレゼンテーション終了後、口頭試問と面接を計15分間行います。
- (2) プレゼンテーションのときに持ち込めるのは、探究学習報告書およびプレゼンテーション資料（パワーポイント等）のデータを保存したUSBのみです。それ以外のもの（読み上げ用の原稿、PC・タブレット・スマートフォンなどの電子機器など）は一切持ち込みを認めません。また、発表者ツールを使用するプレゼンテーションはできません。
- (3) プレゼンテーションで使用するパワーポイント等の資料に「アニメーション」「動画」「音声」を付けることはできません。

(4) 審査員は、出願時に提出された探究学習報告書を見ながら審査を行います。

3. 評価の視点

プレゼンテーション・口頭試問および面接の結果、探究学習報告書、調査書・事前課題（小論文）、それぞれの評価を総合して判定します。また、探究学習の評価にあたっては、以下の視点を重視します。

- (1) なぜその課題に問題意識を持ったのか。（課題発見力）
- (2) 誰とどのような活動を行い、どのような成果が得られたか。（協働力）
- (3) 探究学習を行うにあたって参考にした書籍・論文・データ等が量的・質的に妥当といえるか。（情報収集力、分析力）
- (4) その活動の中でどのような学び、気づきを得られたか。（自己分析力）
- (5) 探究学習を通して得た学びを、本学での学びにどう活かすか。また、大学卒業後にどのように地域・社会へ貢献することを考えているか。（継続力）
- (6) (1)～(5)の点について、具体的・客観的な根拠に基づいた考察が行われているか。

以上